



茨木市立東中学校 生徒指導推進委員会
生徒指導通信10号 令和4年3月10日
文責：生徒指導主事 森山 聡

根気よく、主体的に学ぼう ~自分も周囲の人も大切にしよう~ 自分と向き合い、進路を切り開こう

～努力するとは～

3年生、卒業おめでとうございます。次のステップへの挑戦が終わり、まだ結果が出ていない人もいますが、まずは自分の力を出し切って一息ですね。

下級生も、残り数日でひとつの節目ですね。それぞれの人々が成果も課題もあると思いますが、しっかりと振り返りを行い、次の目標設定を明確に行いましょう。

ところで、何かを成し遂げるためには自分で考え、努力していくことが大切なことは誰もが分かっていると思います。しかし、それが難しい。続かない。ということも多々あります。

少し難しいかもしれませんが、自分の努力がどうだったのか考えてみて下さい。

『努力』の四段活用

とりあえず『努力』してみることで何らかの結果がでるのが一段目。

見せかけの『努力』ではうまくいかないことを知り、時間をかけて粘り強く頑張り続けることが本当の『努力』であることを知るのが二段目。

本当の『努力』があってもすべて結果がでるわけでないという現実があることを知るのが三段目。

そして、『努力』しても求める結果がでないことがあったとしても、本当の『努力』をしたことが長い目で見たときに自分にとって大きなプラスになっていることに気づくのが四段目。

北京オリンピック・フィギュアスケートで、金メダル有力候補だった羽生結弦選手が世界で初めての技に挑戦しながらも失敗し、4位に終わりました。

終了後こんなコメントを話しています。

「一生懸命頑張りました。正直、これ以上ないくらい頑張ったと思います。まあ、報われない努力だったかもしれないですけど。でも・・・確かにショートからうまくいかないこともいっぱいありましたけど、むしろうまくいかないことしかありませんでしたけど、一生懸命頑張りました」

「大人になって、人生って報われることがすべてじゃないんだなと。ただ、報われなかった今は、報われなかった今で幸せだなど。不条理な事はたくさんありますけど、少しでも前を向いて歩いていけるように、頑張っていきたいと思います。」

このレベルのアスリートであり、ここまでの努力を行った人だけが言える「報われない努力」という言葉。簡単な努力で出た言葉ではありませんよね。

しかし、その現実を全て受け入れた結果、それでも幸せだと、前を向いて頑張るという不屈の精神は尊敬でしかありません。

東中生がそれぞれのステージで自分の納得のいく努力をしてくれることに期待しています。

～少し考えて生活しよう～

東中の周りには多くの店や住宅、マンションがあります。

店に入るためにであったり、友達の家に行くためにであれば全く問題ないですが、何も用事がないのにも関わらず、人の敷地に入る事はやめましょう。

特に、店の入り口付近に集団でいると、利用者の邪魔になることもあるので周りの人のことも考えて生活して下さい。よろしくお願いします。